

2023年度 学校関係者評価報告書

太田看護専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会は「2023年度太田看護学校自己点検・自己評価結果」に基づいて学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1 開催日時・場所

日時：2024年5月10日（金） 16時30分～17時00分

場所：太田看護専門学校 カンファレンス室

2 出席委員

相楽 充成	財団役員
高橋 皇基	実習先病院長
川前 金幸	実習先病院長
関 由美子	臨床実習指導担当者
名知 幸恵	臨床実習指導担当者

3 学内出席者

学校長	丹治 雅博
副学校長	坂本 美佳子
教務主任	馬場 智恵
実習調整者	遠藤 美佐子
教務調整者	小山内 恵合
主任専任教員	小柴 尚子
事務長	中島 清彦
学校医	井上 実
非常勤講師	小島 稔

4 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 2023年度学校自己評価報告
自己点検・自己評価委員会より学校評価と授業評価結果報告
- (4) 質疑応答・意見交換
- (5) 学校関係者評価委員による評価

(6) その他

(7) 閉会

5 教育の目的・目標

《教育理念》

設置主体である一般財団法人太田総合病院は、明治28年の創設以来「生命の尊厳」を基本理念とし、保健・医療・福祉の分野において地域に根ざした幅広い活動を展開している。本校がめざす教育は、その理念を受け、いのちの大切さ・尊さを守る看護師、自ら考え行動する看護師、職業に自信と誇りをもつ看護師を育成することである。

《教育の目標》

相手を尊重し思いやる気持ちと看護の基礎的能力を持ち、看護活動を通じて地域社会に貢献できる人材を育成する

《教育方針》

- 1) 相手を尊重し思いやる気持ちを持ち、人間を多様性のある統合体として全体的に洞察できる能力を身につける
- 2) 人々の健康を支援し、いのちと暮らしを守るために必要な看護の基礎的知識と基本技術を身につける
- 3) 看護に求められる社会的使命を理解し、状況に応じた基礎的看護を実践できる
- 4) 保健・医療・福祉システムにおけるチームの一員として協働できる基礎的能力を身につける
- 5) 専門職として倫理観を持ち、自己の能力を評価し研鑽し続ける力を身につける

《2023年度重点教育目標》

- 1) 教育の充実
- 2) 電子テキストの運用
- 3) 安全に関する校舎の整備

6 項目ごとの意見等

(1) 教育理念・目的

- ・昨年度からカリキュラム改正に向けて話し合いを重ねてカリキュラム構築を図ってきたことが、教育理念及び教育目的が、教員及び学生に正しく伝わり高い結果につながっていると思われる。

(2) 教育目標

- ・教育目標は、教員及び学生に正しく周知されている。

(3) 教育課程経営

- ・教育課程は適宜教育課程編成委員会で評価しており、滞りなく経営されていると思われる。

(4) 教授・学習・評価過程

- ・授業評価結果から適切に行われていると思われる。
- ・電子テキストの導入もスムーズに行われたと思われる。

(5) 経営・管理過程

- ・学生生活が安全に行われるよう施設整備が行われていると思われる。

(6) 入学

- ・2024年度入学試験より選抜方法の変更を試みていることから、結果をさらに活かしていくことが必要と思われる。

(7) 卒業・就業・進学

- ・2023年度は80%の学生が母体病院に就職しており、引き続き連携が必要である。
- ・卒業時の到達度の把握を正しく行われていると思われる。

(8) 地域社会／国際交流

- ・昨年、項目の中でも留学に関する項目が低い状況であった。前例に留学に関する該当者がいないことから、常時受入れ体制は整えていないが、海外での就職に必要な手続きの実施など周知されていなかったことが原因と思われた。そこで本年、職員内で情報共有を図ったことが改善に繋がった。

(9) 研究

- ・昨年は低調であったが、本年は研究に取り込む時間の確保や個人の希望を取り入れたことにより改善している。

7 その他の意見

- ・特になし